

月周回有人拠点 Gateway（ゲートウェイ）での 科学利用に関するアンケート結果

2024年4月12日

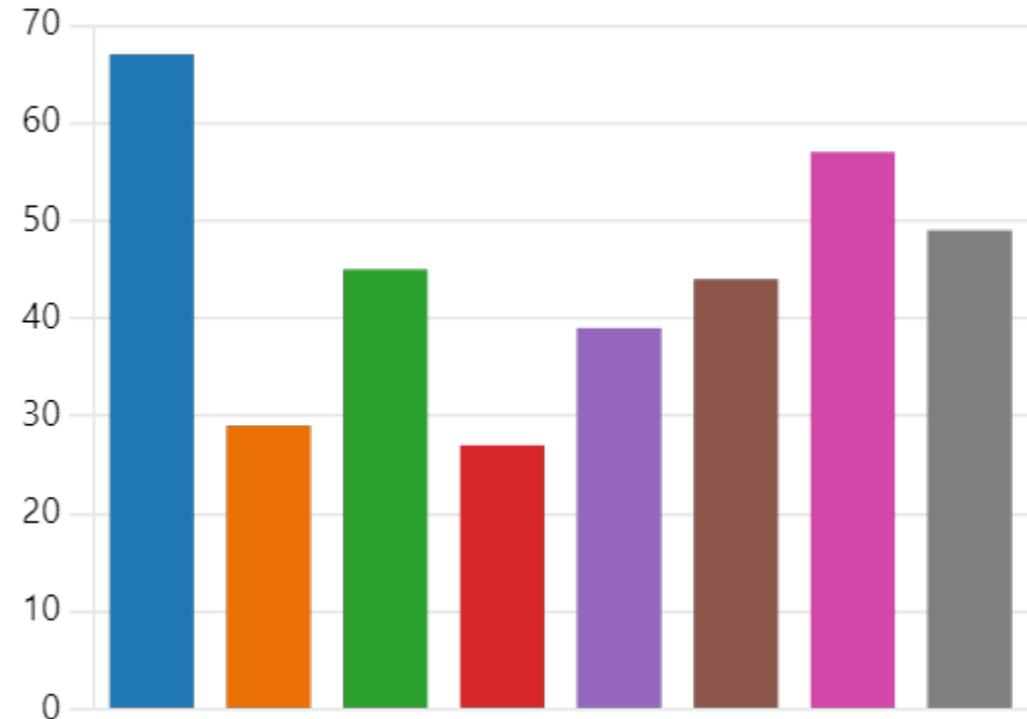
宇宙航空研究開発機構

有人宇宙技術部門

事業推進部/きぼう利用センター

1.ご興味のある分野を教えてください。※複数回答可

興味が高いのは「月を対象とする科学」、「生命医科学」。



2. Gatewayの特徴を生かして、どのような利用を行うとよいと思いますか。

生命医科学（放射線影響、植物栽培、健康管理）、観測（月面、赤外線、X線等）、衛星放出への興味が高い。



■利用分野

- 創薬、再生医療。
- 衛星放出。
- 月面観測。
- 放射線影響。
- 植物栽培。
- 材料研究、木材利用。
- 紫外線/赤外線・プラズマ・X線/γ線。
- ダスト環境。
- 健康管理（遠隔医療等）。
- 船外曝露。

■インフラとしての役割

- 宇宙船ドック・中継基地。
- 日本独自のステーション。
- 月へのアクセス能力獲得。
- 光通信。
- 有人探査の足掛かり。
- 有人宇宙船開発。

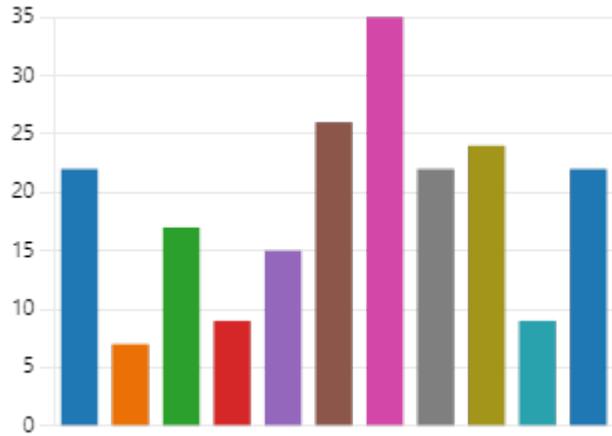
※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析（<https://textmining.userlocal.jp/>）

興味が高いのは「放射線計測」、「サンプル保管・回収」。

● 船外ダスト環境計測（LVDM等）	44
● 船外超小型衛星放出	52
● 船内放射線計測（D-Space/PADLES、PS-TEPC）	60
● 船内でのサンプル保管・回収（リソース提供無し）	60



分野



- 月を対象とする科学 22
- 太陽物理 7
- 宇宙放射線 17
- ダスト研究 9
- 天文物理 15
- 各種の技術実証 26
- 生命医科学 35
- 健康管理技術 22
- 教育 24
- 広報 9
- その他 22

業種



- 大学・研究機関 55
- 公的機関 4
- 企業 18
- その他(※) 24

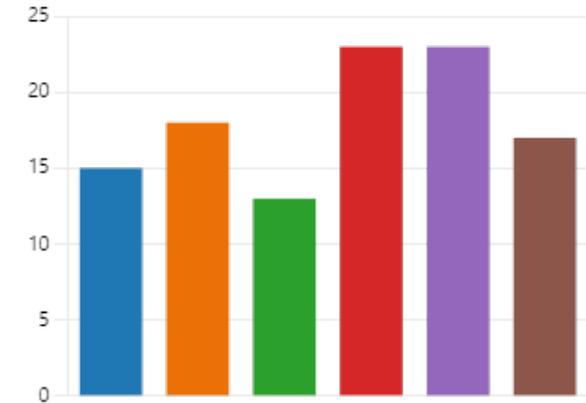
※その他の内訳：小学生、高校生、自営業、病院・医療、農業、作家等

職種



- 研究者 43
- 研究開発 11
- 商品開発 1
- その他 42

年代



- 19歳以下 15
- 20～29歳 18
- 30～39歳 13
- 40～49歳 23
- 50～59歳 23
- 60歳以上 17